使用後について

使用済の消火器は、販売店に依頼し速やかに再充填するか新しい消火器を設置してください。絶対に分解しないでください。

消火器の回収・リサイクルについて

※回収、廃棄の際は専門業者又は販売店にお問い合せしてください。
※なお回収、廃棄処理には、費用がかかりますので有料処理となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

放射後の健康被害防止の為の注意事項

- ■ 粉末消火薬剤は消火を目的とし、安全性が高く身体への影響は軽微です。
- ■ 通常の使用により薬剤を吸引した場合、眼・鼻・喉に違和感を生じることがあります。
- ■ 消火薬剤の清掃には十分な換気の元で、吸引及び眼・皮膚等に付着しないようマスク等の保護具を着用してください。
- ■ 万一身体に異常を感じる場合は、医師の診断を受けてください。

消火器についての、お問い合わせ、ご相談は弊社販売店又は、下記の各営業所へご連絡ください。

発売元 マルヤマエクセル株式会社　株式会社丸山製作所

インターネットホームページ・アドレス　http://www.maruyamaexcell.co.jp

本　　社：〒130-8567 東京都墨田区緑1-2-10　TEL. 03(5600)9821 FAX. 03(5600)9818

関東営業所：〒130-8567 東京都墨田区緑1-2-10　TEL. 03(5600)9821 FAX. 03(5600)9818
関東営業所千葉事務所：〒283-0044 千葉県東金市小沼田1624-1　TEL. 0475(52)8755 FAX. 0475(52)8166
東北営業所：〒981-1106 仙台市太白区柳生2-23-1　TEL. 022(748)4515 FAX. 022(748)4516
西日本営業所：〒567-0846 大阪府茨木市玉島1-20-12　TEL. 072(634)3741 FAX. 072(636)6040
西日本営業所名古屋事務所：〒481-0038 愛知県北名古屋市徳重御宮前8
九州営業所：〒818-0041 福岡県筑紫野市上古賀4-9-1　TEL. 092(919)1400 FAX. 092(921)3399

《電話受付時間　9：00～17：00（土・日・祝を除く）》

販売店

取説115-1212

取扱説明書

MARUYAMA 蓄圧式 大型車載式 粉末消火器

国家検定合格品

該当器種 ●ストップ付 **AHA-50PH・AHA-100PH**

写真は AHA-100PHです。

このたびは、マルヤマ消火器をお買い求めいただきまことにありがとうございました。ご設置、使用される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい設置、正しい使い方をしてください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

各部のなまえ・構造図 …… 1
適応火災 …… 3
使用方法 …… 4
必ずお守りください
1.危険 …… 5
2.警告 …… 6
3.注意　設置上の注意 …… 7
　　使用上の注意 …… 8
　　使用後の注意 …… 9
メモ …… 10
使用後について …… 11
回収・リサイクルについて …… 11

株式会社丸山製作所

消火器は圧力容器です。取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。

●取扱説明書では、ご使用上の注意内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害、損害の程度を「危険」「警告」「注意」で表示しています。

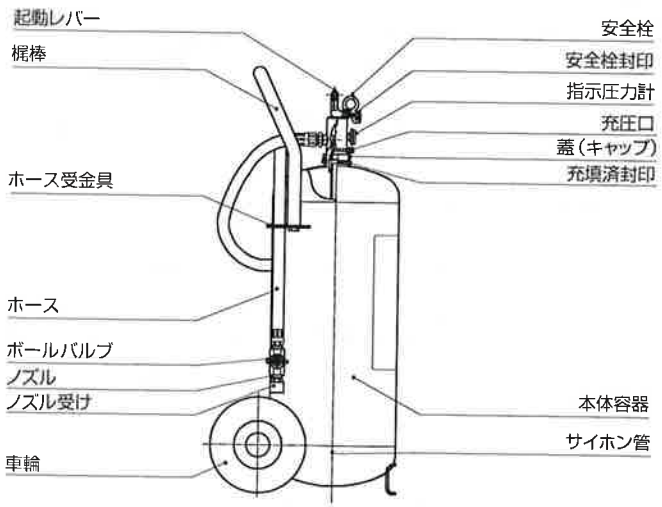
⚠危険	取扱い上容器が破裂し重大な人身事故が発生し、「死亡または重傷などを負う切迫した危険状況を示す」内容です。
⚠警告	設置上及び使用上「死亡または重傷などを負う潜在的な危険状況を示す」内容です。
⚠注意	設置上及び使用上「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

●消火器には適応火災と消火能力単位が表示されています。
適応火災はその種の火災に適していることを意味し、消火能力単位は規格基準に基づく消火単位を表示しているもので、これをもって実火災における消火規模を限定することはできません。

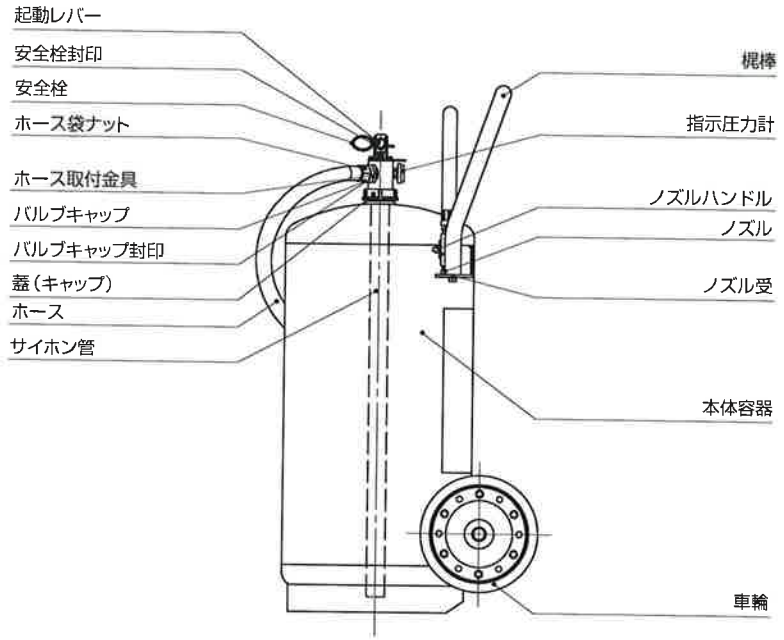
●消火器はあくまで初期消火に威力を発揮しますが、火災規模、状況等により、どんな火災でも消火できるとは限りません。そのため、正しい使用方法に基づいて消火器を使用したにも拘らず消火できなかったことによる人的、物的損害についての賠償の責はご容赦願います。

各部のなまえ・構造図

50型（AHA-50PH・蓄圧式）ストップ付タイプ



100型（AHA-100PH・蓄圧式）ストップ付タイプ



適応火災

この消火器は普通・油・電気火災に適応します。消火器本体容器のラベルに表示しています。

消火器には、適応火災を示す色マークが付いています。お求めの消火器が設置場所の予想される火災の消火に適した性能のものであるかご確認ください。

普通火災用

油火災用

電気火災用

●この消火器は車輪が付いていますので移動して消火できます。

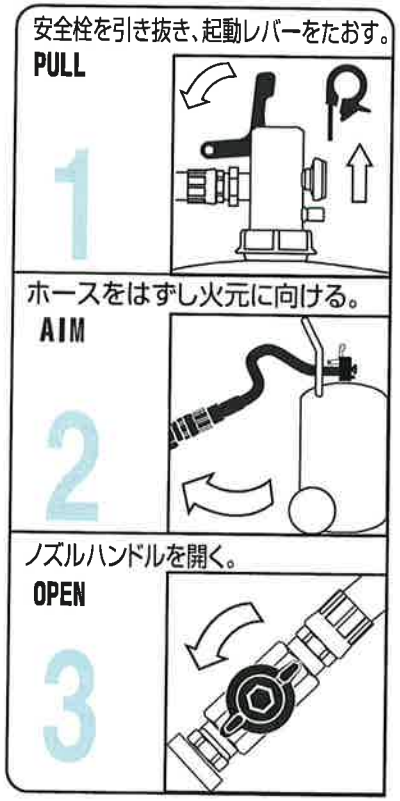
大型車載式消火器（50型・100型）はストップ付タイプです。
（ストップ付は、一度放射させても途中で一時的に止めることができ有効放射が行えます。）

使用方法

消火器本体容器のラベルに表示しています。

●50型
（AHA-50PH・蓄圧式）

❶ 梶棒を手前に倒して移動する。
❷ 梶棒を起して消火器を垂直に立てる。
❸ 黄色の安全栓を上方向に引き抜き、起動レバーをたおす。
❹ ホースをはずし、ノズルを火元に向ける。
❺ ノズルハンドルを開き、火元を手前からはくようにして放射する。



●100型
（AHA-100PH・蓄圧式）

❶ 梶棒を手前に倒して移動する。
❷ 梶棒を起して消火器を垂直に立てる。
❸ 安全栓を上方向に引き抜き、起動レバーを止まるまで押し下げる。
❹ ホースをはずし、ノズルを火元に向ける。
❺ ノズルハンドルを回して全開にする。火元を手前からはくようにして放射する。

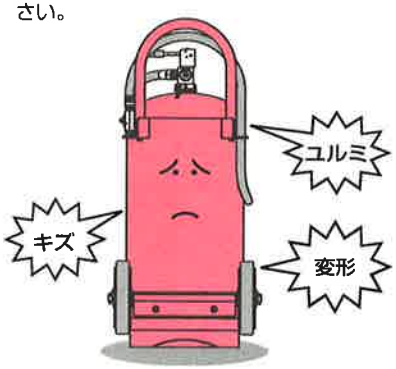
必ずお守りください

⚠ 危険

**消火器本体容器の破裂等により人身事故発生の恐れがあります。
該当する消火器は絶対に使用しないでください。また、取扱いは
十分ご注意ください。**

1.サビ・傷・変形・キャップ及び部品のゆるみ、脱落のあるものは絶対に使用しないでください。

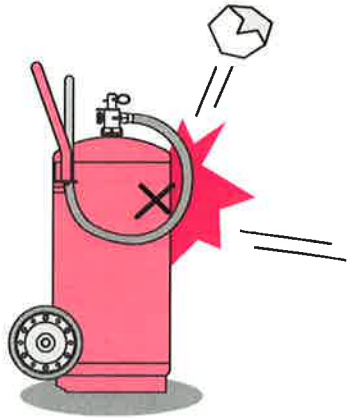
設計標準使用期限（10年）以内の消火器でも該当するものは、使用しないでください。



2.分解しないでください。

3.消火器は圧力容器です。消火器に強い衝撃を与えないでください。

本体容器の破裂等により人身事故発生の恐れがあります。

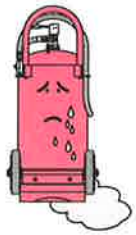


※消火器を廃棄される場合は必ず専門業者又は販売店にご相談ください。

⚠ 警告

1.腐食し易い場所、湿気の多い場所、潮風や風雨にさらされる場所に設置しないでください。

2.濡れた床や地面に直接置かないでください。



3.使用温度範囲を超える場所に設置しないでください。

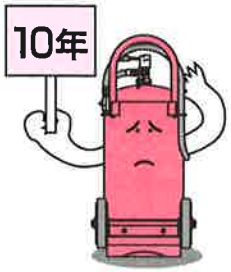
4.絶対に人に向けて放射しないでください。

呼吸困難や危害発生を招く恐れがあります。

5.火元から5m以上離れてから放射を開始してください。

6.避難経路を確保しながら消火してください。

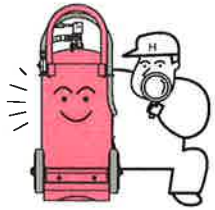
7.設計上の標準使用期限（10年）を超えて使用すると、経年変化によりけがなどの事故になる恐れがあります。



8.製造年から10年を過ぎたものは、法で定めた水圧検査を実施してください。

本体容器の破裂により人身事故発生の恐れがあります。

9.6ヶ月ごとに法令で定められた点検を実施してください。



10.消火器の清掃は、水洗いや有機溶剤（ガソリン、ベンジン、シンナー等）及び中性洗剤を使用しないでください。

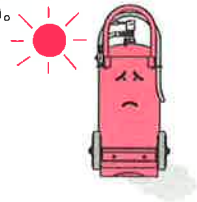
サビ、ホースの変質、消火薬剤の吸湿の原因になります。
乾いた布等による清掃をおすすめします。

⚠注意

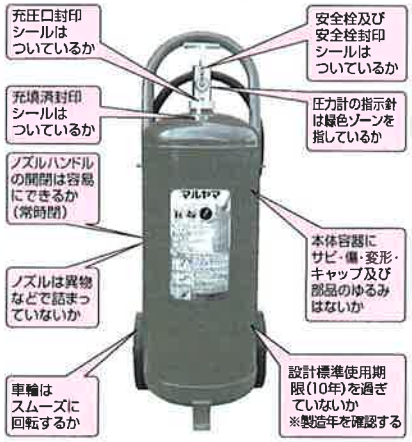
設置上の注意

1.日光が当たる場所には設置しないでください。

必要に応じて格納箱に入れてください。



●50型
(AHA-50PH・蓄圧式)



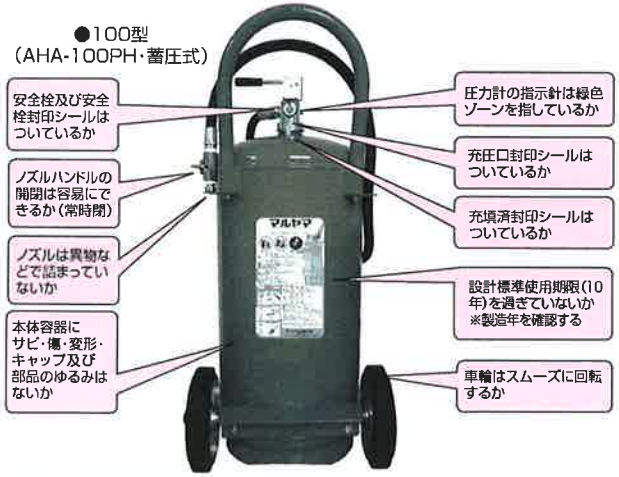
2.通行または避難に支障がなく、スグに持ち出せる場所に設置してください。

3.地震・ゆれ・振動で消火器が転倒しないように設置してください。

4.3ヶ月に一度外観を観察してください。

異常を発見した場合は、速やかに販売店に連絡し、整備等の処置をしてください。

●100型
(AHA-100PH・蓄圧式)



5.この消火器は業務用消火器です。

⚠注意

使用上の注意

1.適応火災は消火器本体のラベル表示と、この取扱説明書を確認してください。

(燃焼物によっては適・不適があります。)

2.消火器は初期消火をする器具です。消火範囲にも限度があります。

火災の大きさ、消火開始の時期、適応火災の条件により消火できない場合があります。

消火に際して

- ●ムリな消火活動はしないでください。火災拡大の恐れがあります。
- ●消火に際しては、逃げ道を確保して消火してください。
- ●屋外での消火は風上より消火してください。

3.ためし放射をしないでください。

そのまま放置すると使用できなくなります。

4.正しい使用方法で消火してください。

消火器本体容器のラベルに表示している使用方法に従って消火してください。

5.消火の際、火に近付き過ぎないようにしてください。

とくに油火災の場合、油の飛散や、炎の吹き返しにより火傷の恐れがあります。
消火開始時には、5m程度の距離を保ち、炎がおさまるにつれて接近してください。

6.ホースはしっかり握って消火してください。

ホースを手放すと放射方向が定まらず消火ができなくなります。

7.放射時には本体を垂直にして使用してください。

斜めにすると放射の状態が悪くなります。
斜めに傾けて使用しないでください。

8.恐しい火災発生時のガス。

火災による発生ガスは人体に有害です。
換気の悪い狭い部屋での消火は注意してください。

9.粉末消火薬剤は大量に吸わないでください。

粉末消火薬剤は人体に対して毒性はありませんが、大量の消火薬剤を吸い込むと、呼吸困難をおこす場合があります。

10.ホース、ノズルに亀裂のあるもの、ノズルが離脱しているものは使用しないでください。

使用後の注意

1.ガスが関連した火災ではガスの元栓を必ず締めてください。

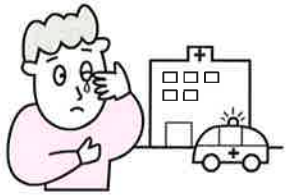
2.消火薬剤が身体にかかったり、目に入った場合。

●身体にかかった場合

水洗い等をして十分洗浄してください。

●目に入った場合

速やかに水洗いし、充血、目の痛みを感じたら医師の診察を受けてください。



3.消火薬剤のかかった食物は食べないでください。

4.飛散した消火薬剤は速やかに清掃してください。

（放置しておくとカビの発生、金属類の腐食、電気絶縁の低下の原因となります）

5.消火薬剤の詰め替えは販売店に依頼し、当社製適合消火薬剤を充填してください。

MEMO